

4-2-3 被害類型別の特徴

【要旨】

被害者（Web）のうち、**殺人・傷害等の被害者**は、健康上・精神上の問題を抱え、重症精神障害相当の状態にある比率が高く、回答者平均で年間 49 日間日常生活に支障をきたしている。事件直後と比較して、なお身体・精神・経済状況が悪化しているとの回答も多く、特に経済的状況が深刻である。不安定な状況が続いており、回復状況は芳しくない。

この類型の被害者は、休学・休職、家族間不和、学校・職場・地域との関係悪化等が生じやすい。支援としては、加害者情報の提供、事件発生直後からの付添い、相談・カウンセリング等を比較的活用しており、今後は裁判・公判等の過程における配慮、加害者の情報提供の拡充を望んでいる。

**交通事故の被害者**は、他の類型と比較すると、健康上・精神上の問題が少なく、重症精神障害相当の状態にあるという割合も低く、日常生活に支障をきたす日数は年間 27 日間である。事件直後と比較して身体・精神・経済状況の悪化はあまり見られず、事件からの回復状況は、他の類型と比較すると良好である。

医療機関に通わない割合も、他の類型と比べて高めである。一方で長期入通院をしやすい。支援としては、職場での休暇の取得を活用する比率が高い。何も受けていないとする回答も多めである。今後は、社会保障・福祉制度の充実、家事や同居家族の世話の補助、病院への付添い等を望んでいる。

**性犯罪の被害者**は、特に精神上の悪影響が強く、抑うつ状態にある割合も高めで、日常生活に支障をきたす日数は年間 62 日間である。事件直後と比較して、特に精神状況が悪くなっているという回答が多く、回復状況は芳しくない。悩みの解決を病院に求める傾向が強い。

事件後に転居、家族間信頼の醸成を経験する割合が高く、支援としては、加害者情報の提供、事件発生直後からの付添い等の利用度が高い。今後は、加害者の情報提供の拡充、PTSD 等重度ストレス反応の治療専門家の養成、犯罪被害者等のための医療体制の整備等を望んでいる。

※ 上記以外の被害類型（「その他」）には、詐欺、窃盗、恐喝、監禁等が含まれている。昨年度までの調査同様、本年度調査においても、被害類型別の分析・解釈は、「殺人・傷害等」、「交通事故」、「性犯罪」の3類型を対象に行うが、「その他」の回答者数も少なくなかったため、表・グラフ等においては「その他」の数値等も併記する。

図表 4－20 被害類型別の特徴

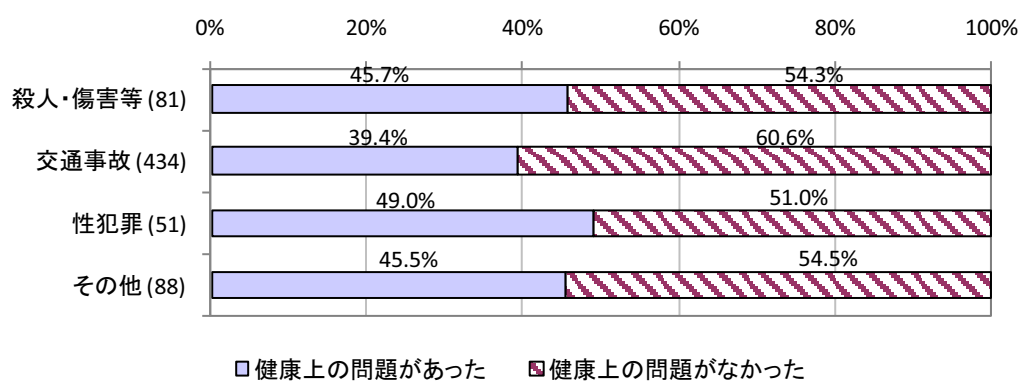
	殺人・傷害	交通事故	性犯罪
心身問題の有無	健康上・精神上の問題を抱える割合が双方ともに高い。	健康上・精神上の問題を抱える割合が、他の類型と比較すると低い。	健康上・精神上の悪影響が最も強くみられる。
K6 得点	13 点以上（重症精神障害相当）にある割合が最も高い。	13 点以上（重症精神障害相当）にある割合が、他の類型と比較すると低い。	K6 で 13 点以上（重症精神障害相当）にある割合も高め。
日常生活に支障がある日数（年平均）	49 日	27 日	62 日
事件後の身体・精神・経済状況の変化	事件直後と比較して、さらに身体的・精神的・経済的状況が悪くなっているという回答割合が高い。特に経済的状況が深刻である。	事件直後と比較して、身体的・精神的・経済的状況が悪くなったという回答は少ない。事件からの回復状況は、他の類型と比較すると良好である。	事件直後と比較して、特に精神的状況が悪くなっているという回答割合が高い。
心身問題の解決法	医療機関に通って、状況を解決する行動が多い。	医療機関に通わないという行動が、他の類型と比較して高めである。	精神的な問題・悩みの解決を病院に求めた割合が非常に高い。何もしなかったという回答も多い。
事件後／現在の状況変化	身体・精神・経済状況が悪化したという回答が比較的多い。	身体・精神・経済状況が悪化したという回答は比較的に少ない。	精神状況が悪化したという回答が比較的多い。
回復状況	回復状況が芳しくない。	全体平均よりは回復状況が良好。	回復状況が芳しくない。
生活変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 学校または仕事を辞めた、変えた</li> <li>● 家族間で不和が起こった</li> <li>● 学校や職場、地域の人々との関係が悪化した</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 長期に通院したり入院したりするようながや病気をした</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 転居した</li> <li>● 家族間の信頼が深まった</li> </ul>
活用した支援施策	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 加害者に関する情報の提供</li> <li>● 事件発生直後からの付添い</li> <li>● 相談・カウンセリング</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 何も受けていない</li> <li>● 休暇の取得など職場における配慮</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 加害者に関する情報の提供</li> <li>● 事件発生直後からの付添い</li> <li>● 「被害者の手引」による各種支援内容や刑事手続に関する情報提供</li> </ul>
今後充実を望む施策	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 裁判、公判等の過程における配慮</li> <li>● 加害者の情報提供の拡充</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 社会保障・福祉制度の充実</li> <li>● 家事や同居家族の世話の補助、病院への付添い等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 加害者の情報提供の拡充</li> <li>● PTSD 等重度ストレス反応の治療専門家の養成</li> <li>● 犯罪被害者等のための医療体制の整備</li> </ul>

以下に、上表の根拠となるデータを示す。

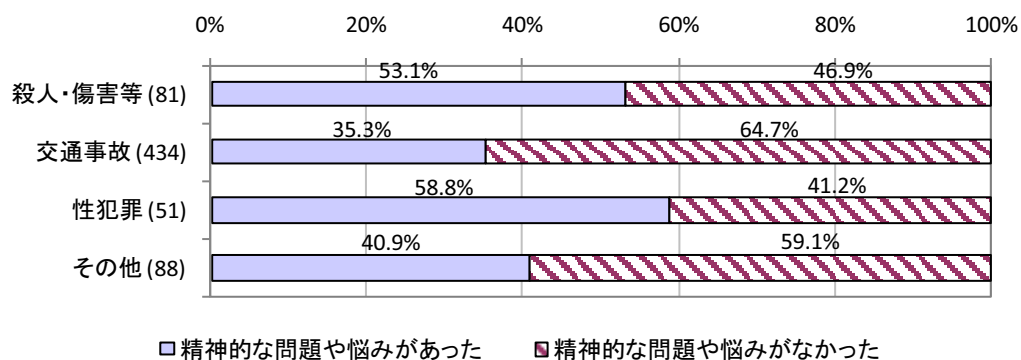
(1)健康上・精神上の問題（Web 調査\_問 1、問 4）

過去 30 日間に健康上・精神上の問題があったとする回答の割合を被害類型別にみると、性犯罪で最も多く、次いで殺人・傷害等となっている（図表 4－2 2、図表 4－2 3）。

図表 4－2 2 被害類型別、健康上の問題の有無



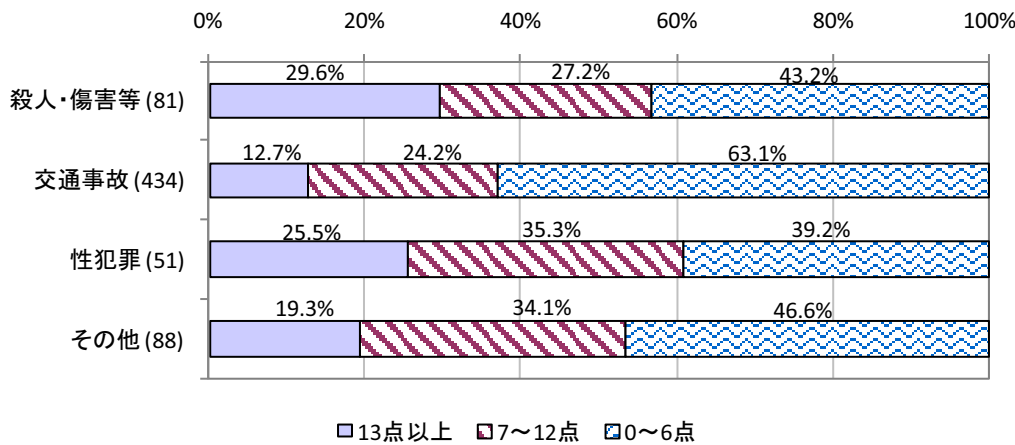
図表 4－2 3 被害類型別、精神的な問題の有無



(2)精神健康状態（K6）（Web 調査\_問 7）

被害類型別に、精神健康状態を K6 の値で比べると、殺人・傷害等において「重症精神障害」相当とされる 13 点以上の割合が高く、次いで性犯罪となっている。

図表 4－24 被害類型別、K6 得点



(3)日常生活が行えなかった日数

この1年間で仕事や日常生活が行えなくなった日数は、性犯罪で最も多く 61.5 日となっている。1年のうち2か月以上に達しており、被害の傷跡の大きさがうかがえる。次いでは殺人・傷害等で 49.0 日となっている。

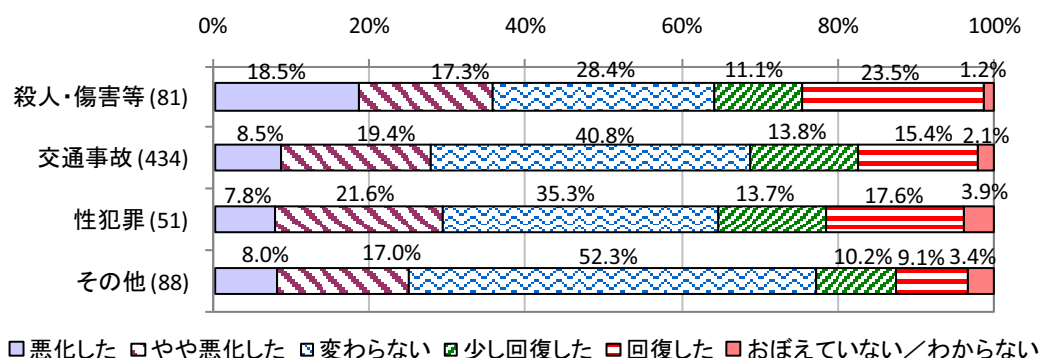
図表 4－25 被害類型別、日常生活が行えなくなった日数

	平均日数
殺人・傷害等(81)	49.0日
交通事故(434)	27.0日
性犯罪(51)	61.5日
その他(88)	35.8日

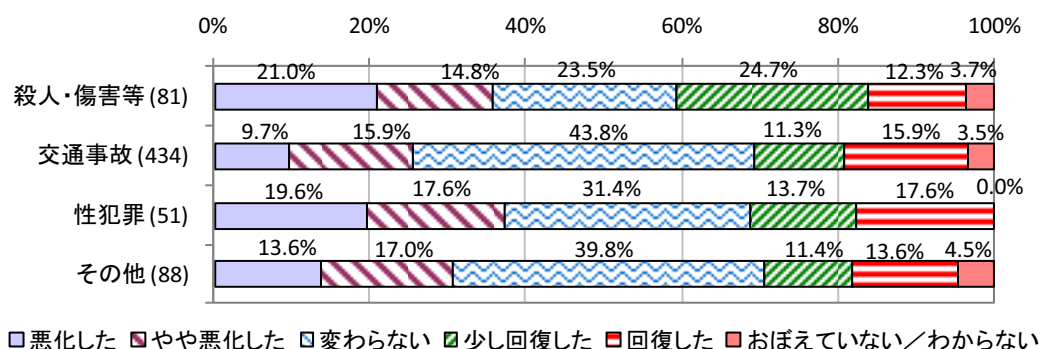
（4）事件後からの状況変化（Web 調査\_問 14）

被害類型別に、事件直後と現在の身体的・精神的・経済的な状況の変化をみたところ、この 3 つの状況に対して全体的に状況が悪化しているという回答の割合が高いのが殺人・傷害等である。一方、殺人・傷害等においては、身体的・経済的な状況については回復したという割合も高くなっている。対照的なのが交通事故であり、悪化したという回答も少ないが、回復したという回答も比較的少なめとなっており、事件後、状況があまり変化していない様子がうかがえる。性被害においては、特に精神的状況が悪化しているという回答の割合が高くなっている（図表 4－26、図表 4－27、図表 4－28）。

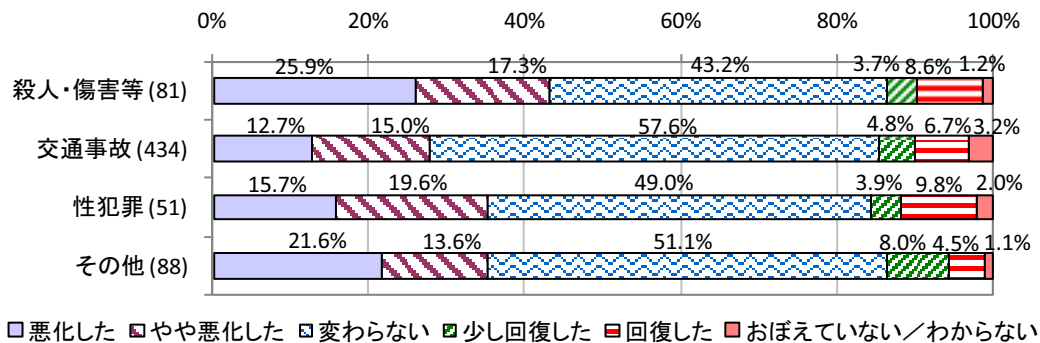
図表 4－26 被害類型別、事件直後と現在の状況変化\_身体的な状況



図表 4－27 被害類型別、事件直後と現在の状況変化\_精神的な状況



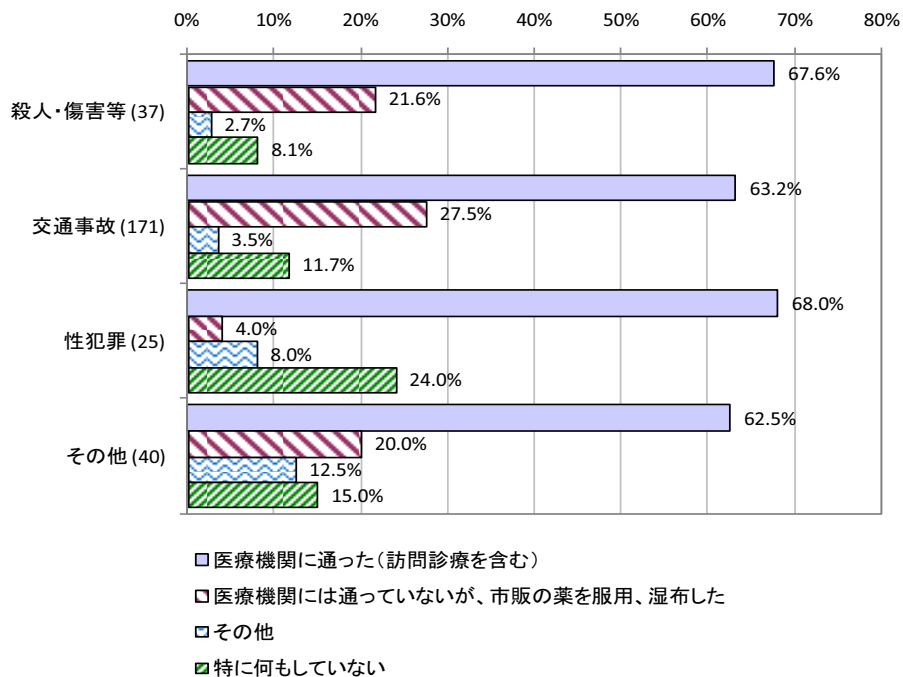
図表 4－28 被害類型別、事件直後と現在の状況変化\_経済的な状況



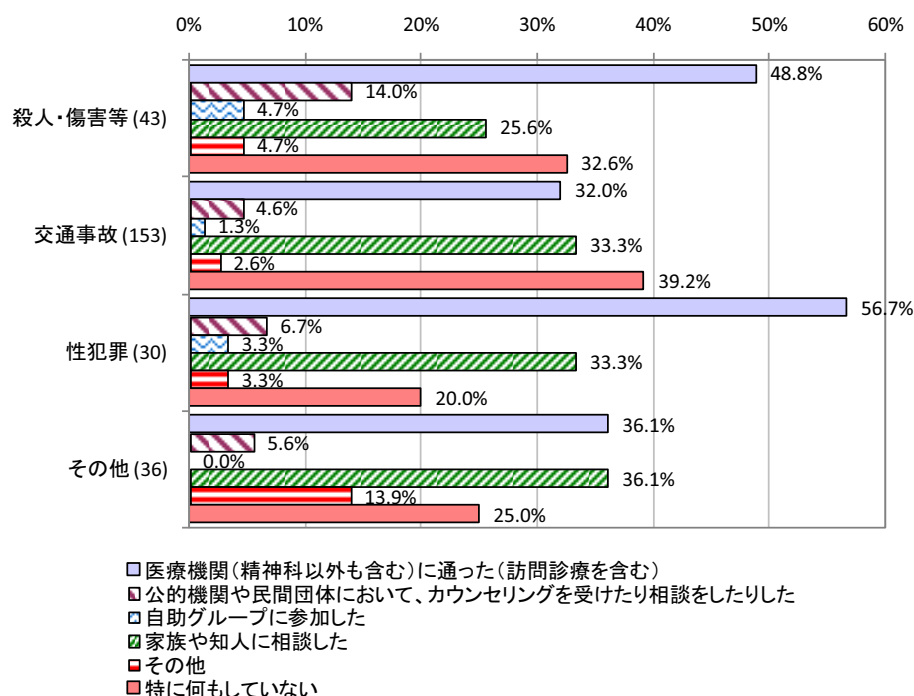
(5)健康上・精神上の問題の解決方法（Web 調査\_問3、問6）

被害類型別の健康上・精神上の問題の解決方法は、殺人・傷害等においては、「医療機関に通った」とする回答が若干多めであり、「特に何もしていない」は非常に少ない。交通事故においても「医療機関に通った」とする回答が最も多いことには変わりはないが、医療機関に通っていないという回答も他類型と比較して高めである。性犯罪においては、精神的な問題・悩みの解決を病院に求めた割合が非常に高く、一方で「特に何もしていない」という回答も多くなっている（図表 4－29、図表 4－30）。

図表 4－29 被害類型別、健康上の問題の解決方法



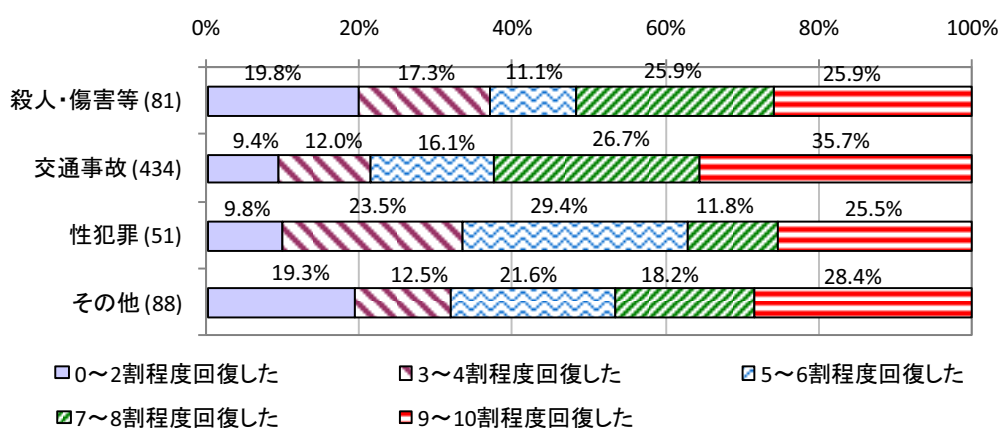
図表 4－30 被害類型別、精神的な問題の解決方法



#### (6)回復状況（単年度調査\_問 16）

現在の総合的な回復度合いについて、主観的回復度を質問したところ、5割以上回復したとする人の割合は、殺人・傷害等で63%、交通事故で79%、性犯罪で67%となっており、殺人・傷害等でやや少ない。また、殺人・傷害等では、0~2割程度しか回復していないとする人の割合は20%と、交通事故の9%や性犯罪の10%より約10%程度高くなっている。

図表 4－31 被害類型別、事件被害からの回復度合い



## (7)生活上の変化（ライフイベント）（Web 調査\_問 13）

事件後から現在までの生活上の変化を被害類型別にみると、殺人・傷害等では「学校または仕事を辞めた、変えた」（32%）、「学校または仕事をしばらく休んだ」（43%）、「自分が別居・離婚をした」（9%）、「家族間で不和が起こった」（22%）、「学校や職場、地域の人々との関係が悪化した」（17%）等、ネガティブなイベントで割合が高くなっている。性犯罪では、転居をした（39%）、「家族間の信頼が深まった」（24%）が高い割合となっている。

図表 4-32 被害類型別、生活上の変化

	回答数	学校または仕事を辞めた、変えた	学校または仕事をしばらく休んだ（休学、休職）	長期に通院したり入院したりするようになげがや病気をした	転居（引越し）をした	自分が結婚した	自分が別居・離婚をした	自分に子どもが生まれた	同居している家族が結婚した
殺人・傷害等	81	26 ( 32.1%)	35 ( 43.2%)	28 ( 34.6%)	23 ( 28.4%)	8 ( 9.9%)	7 ( 8.6%)	6 ( 7.4%)	2 ( 2.5%)
交通事故	434	74 ( 17.1%)	156 ( 35.9%)	147 ( 33.9%)	70 ( 16.1%)	21 ( 4.8%)	15 ( 3.5%)	36 ( 8.3%)	8 ( 1.8%)
性犯罪	51	13 ( 25.5%)	17 ( 33.3%)	11 ( 21.6%)	20 ( 39.2%)	6 ( 11.8%)	3 ( 5.9%)	6 ( 11.8%)	4 ( 7.8%)
その他	88	17 ( 19.3%)	27 ( 30.7%)	23 ( 26.1%)	23 ( 26.1%)	4 ( 4.5%)	5 ( 5.7%)	6 ( 6.8%)	3 ( 3.4%)

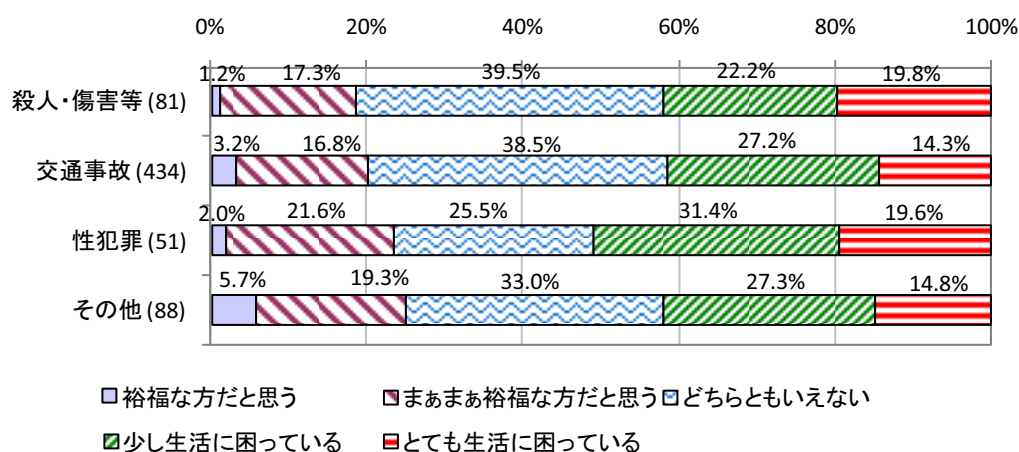
	同居している家族に子どもが生まれた	同居している家族の看護・介護が必要になった	家族が亡くなった	家族間の信頼が深まった	家族間で不和が起こった	学校や職場、地域の人々との関係が親密になった	学校や職場、地域の人々との関係が悪化した	その他
殺人・傷害等	1 ( 1.2%)	5 ( 6.2%)	12 ( 14.8%)	9 ( 11.1%)	18 ( 22.2%)	3 ( 3.7%)	14 ( 17.3%)	13 ( 16.0%)
交通事故	4 ( 0.9%)	18 ( 4.1%)	37 ( 8.5%)	57 ( 13.1%)	42 ( 9.7%)	11 ( 2.5%)	27 ( 6.2%)	79 ( 18.2%)
性犯罪	4 ( 7.8%)	2 ( 3.9%)	7 ( 13.7%)	12 ( 23.5%)	6 ( 11.8%)	3 ( 5.9%)	4 ( 7.8%)	7 ( 13.7%)
その他	0 ( 0.0%)	4 ( 4.5%)	10 ( 11.4%)	7 ( 8.0%)	13 ( 14.8%)	4 ( 4.5%)	9 ( 10.2%)	19 ( 21.6%)



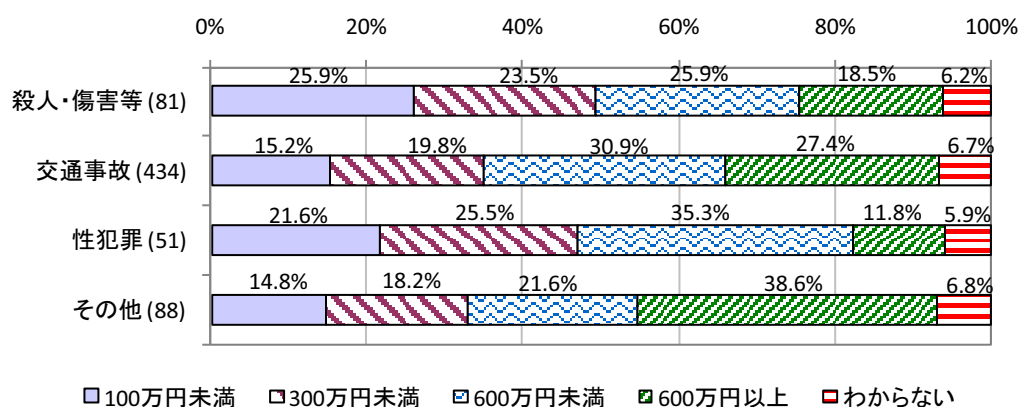
(8)経済状況（Web 調査\_問9、F11）

被害類型別の経済状況は、自分の生活に関する意識では、性犯罪において「少し生活に困っている」及び「とても生活に困っている」という回答が51%と最も多く、殺人・傷害等と交通事故は42%と同水準となっている。一方、性犯罪においては、「裕福な方だと思う」、「まあまあ裕福な方だと思う」という回答も24%と比較的多い（図表4-33）。また、世帯年収水準については、殺人・傷害等と性犯罪において、低所得者層が比較的多くなっている。

図表 4-33 被害類型別、自分の生活に関する意識



図表 4-34 被害類型別、現在の年収水準（世帯年収）



## 第4章 Web（単年度）調査結果

### (9)活用した支援施策（Web 調査\_問 17）

被害類型別に受けた支援、使った制度をみると、多くの支援、制度で殺人・傷害等、性犯罪の利用割合が高くなっている。交通事故では、「何も受けていない・使っていない」（60%）割合が高い。

図表 4－35 被害類型別、受けた支援、使った制度

	回答数	事件発生直後からの付添い	「被害者の手引」による各種支援内容や刑事手続に関する情報提供	加害者に関する情報（捜査、検挙、処分状況）の提供	地域警察官による被害者訪問・連絡活動	相談・カウンセリング	犯罪被害者給付制度	身辺警戒やパトロール等による身の安全の確保	「被害者支援員」による法廷への付き添いや各種手続きの補助	「被害者ホットライン」による相談や問い合わせ
殺人・傷害等	81	16 ( 19.8%)	6 ( 7.4%)	22 ( 27.2%)	7 ( 8.6%)	12 ( 14.8%)	7 ( 8.6%)	9 ( 11.1%)	1 ( 1.2%)	5 ( 6.2%)
交通事故	434	50 ( 11.5%)	19 ( 4.4%)	40 ( 9.2%)	12 ( 2.8%)	20 ( 4.6%)	4 ( 0.9%)	8 ( 1.8%)	2 ( 0.5%)	8 ( 1.8%)
性犯罪	51	9 ( 17.6%)	8 ( 15.7%)	14 ( 27.5%)	5 ( 9.8%)	8 ( 15.7%)	2 ( 3.9%)	7 ( 13.7%)	1 ( 2.0%)	3 ( 5.9%)
その他	88	8 ( 9.1%)	2 ( 2.3%)	7 ( 8.0%)	2 ( 2.3%)	10 ( 11.4%)	1 ( 1.1%)	12 ( 13.6%)	0 ( 0.0%)	1 ( 1.1%)

	公判期日、裁判結果等に関する情報提供	冒頭陳述の内容を記載した書面の交付	刑事裁判における意見陳述等	優先的に裁判を傍聴できる制度	証人尋問でのビデオリンク・遮へい措置	公判記録の閲覧・コピー	刑事和解制度	民事損害賠償請求制度（あっせん）	ADR（仲裁、調停、和解あつせん）	捜査や裁判に関する手続や制度の紹介
殺人・傷害等	9 ( 11.1%)	5 ( 6.2%)	8 ( 9.9%)	3 ( 3.7%)	1 ( 1.2%)	5 ( 6.2%)	1 ( 1.2%)	2 ( 2.5%)	0 ( 0.0%)	2 ( 2.5%)
交通事故	16 ( 3.7%)	6 ( 1.4%)	6 ( 1.4%)	3 ( 0.7%)	1 ( 0.2%)	6 ( 1.4%)	1 ( 0.2%)	4 ( 0.9%)	3 ( 0.7%)	1 ( 0.2%)
性犯罪	7 ( 13.7%)	2 ( 3.9%)	2 ( 3.9%)	2 ( 3.9%)	1 ( 2.0%)	1 ( 2.0%)	1 ( 2.0%)	2 ( 3.9%)	0 ( 0.0%)	1 ( 2.0%)
その他	2 ( 2.3%)	1 ( 1.1%)	1 ( 1.1%)	1 ( 1.1%)	0 ( 0.0%)	1 ( 1.1%)	0 ( 0.0%)	1 ( 1.1%)	0 ( 0.0%)	1 ( 1.1%)

	関係機関・団体の紹介	被害者支援に精通している弁護士の紹介	民事法律扶助（弁護士費用等の援助）	「犯罪被害者支援窓口」における相談	犯罪被害者等のための「総合的対応窓口」における相談	社会福祉制度（障害者福祉、生活保護等）	公営住宅への優先入居	ハローワークによる就労支援	医療保険制度（健康保険、国民健康保険等）	スクールカウンセラーや教職員による心のケア・転校などの配慮
殺人・傷害等	4 ( 4.9%)	3 ( 3.7%)	4 ( 4.9%)	8 ( 9.9%)	7 ( 8.6%)	1 ( 1.2%)	1 ( 1.2%)	3 ( 3.7%)	8 ( 9.9%)	3 ( 3.7%)
交通事故	4 ( 0.9%)	7 ( 1.6%)	1 ( 0.2%)	17 ( 3.9%)	10 ( 2.3%)	8 ( 1.8%)	1 ( 0.2%)	12 ( 2.8%)	31 ( 7.1%)	8 ( 1.8%)
性犯罪	2 ( 3.9%)	1 ( 2.0%)	1 ( 2.0%)	3 ( 5.9%)	2 ( 3.9%)	2 ( 3.9%)	1 ( 2.0%)	3 ( 5.9%)	2 ( 3.9%)	3 ( 5.9%)
その他	1 ( 1.1%)	0 ( 0.0%)	3 ( 3.4%)	4 ( 4.5%)	2 ( 2.3%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	4 ( 4.5%)	5 ( 5.7%)	2 ( 2.3%)

	休暇の取得など職場における配慮	電話やFAX、面接、メール等による相談	家事や家族の世話、育児などの支援	関係機関・団体の紹介	警察、病院、公判への付き添い	司法制度や行政手続の説明、手続補助	自助グループへの参加	何も受けていない・使っていない
殺人・傷害等	14 ( 17.3%)	8 ( 9.9%)	4 ( 4.9%)	2 ( 2.5%)	1 ( 1.2%)	1 ( 1.2%)	0 ( 0.0%)	30 ( 37.0%)
交通事故	53 ( 12.2%)	12 ( 2.8%)	4 ( 0.9%)	6 ( 1.4%)	2 ( 0.5%)	3 ( 0.7%)	2 ( 0.5%)	259 ( 59.7%)
性犯罪	7 ( 13.7%)	4 ( 7.8%)	2 ( 3.9%)	1 ( 2.0%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	20 ( 39.2%)
その他	13 ( 14.8%)	3 ( 3.4%)	2 ( 2.3%)	4 ( 4.5%)	1 ( 1.1%)	1 ( 1.1%)	1 ( 1.1%)	49 ( 55.7%)

## (10) 今後充実を望む施策（Web 調査\_問 20）

被害類型別の、今後充実を望む施策は、殺人・傷害等では「捜査、公判等の過程における配慮」、「犯罪被害者等に対する加害者の情報提供の拡充」等の、司法関連の施策、交通事故では「社会保障・福祉制度の充実、利便性の促進」、「雇用の確保」、「雇用環境の改善」、「日常家事や同居家族の世話の補助、病院等への付き添い、各種申請手続きの補助」等の、日常生活に関係する施策、性犯罪では「PTSD 等重度ストレス反応の治療専門家の養成」、「犯罪被害を受けた児童や保護者への相談体制の充実」、「国民の理解と配慮・協力を確保するための広報啓発」等の精神的ケアに関連する施策の割合がそれぞれ高い傾向がある。

図表 4－36 今後の実現・充実を望む施策

	回答数	民事損害賠償請求への援助	刑事裁判・少年審判への参加の機会の拡充	捜査、公判等の過程における配慮	犯罪被害者等に対する加害者の情報提供の拡充	加害者の改善更生	犯罪被害者等に対する給付制度の充実
殺人・傷害等	81	48 ( 59.3%)	15 ( 18.5%)	29 ( 35.8%)	43 ( 53.1%)	22 ( 27.2%)	30 ( 37.0%)
交通事故	434	275 ( 63.4%)	81 ( 18.7%)	106 ( 24.4%)	172 ( 39.6%)	86 ( 19.8%)	163 ( 37.6%)
性犯罪	51	29 ( 56.9%)	9 ( 17.6%)	13 ( 25.5%)	26 ( 51.0%)	17 ( 33.3%)	15 ( 29.4%)
その他	88	57 ( 64.8%)	15 ( 17.0%)	19 ( 21.6%)	41 ( 46.6%)	17 ( 19.3%)	35 ( 39.8%)

	地方自治体における支援体制の充実・強化	社会保障・福祉制度の充実、利便性の促進	居住の確保	居住環境の改善	雇用の確保	雇用環境の改善	司法・行政機関職員の理解・配慮の増進
殺人・傷害等	16 ( 19.8%)	12 ( 14.8%)	9 ( 11.1%)	5 ( 6.2%)	14 ( 17.3%)	10 ( 12.3%)	12 ( 14.8%)
交通事故	82 ( 18.9%)	119 ( 27.4%)	38 ( 8.8%)	15 ( 3.5%)	92 ( 21.2%)	72 ( 16.6%)	34 ( 7.8%)
性犯罪	5 ( 9.8%)	6 ( 11.8%)	8 ( 15.7%)	2 ( 3.9%)	7 ( 13.7%)	8 ( 15.7%)	6 ( 11.8%)
その他	16 ( 18.2%)	19 ( 21.6%)	10 ( 11.4%)	10 ( 11.4%)	18 ( 20.5%)	14 ( 15.9%)	9 ( 10.2%)

	高度医療の充実	PTSD等重度ストレス反応の治療専門家の養成	14・15以外の犯罪被害者等のための医療体制の整備	青少年に対する犯罪被害者等に関する教育	犯罪被害を受けた児童や保護者への相談体制の充実	支援や制度に関する情報提供	関係機関・団体相互間の連携強化
殺人・傷害等	9 ( 11.1%)	23 ( 28.4%)	12 ( 14.8%)	6 ( 7.4%)	12 ( 14.8%)	14 ( 17.3%)	6 ( 7.4%)
交通事故	76 ( 17.5%)	115 ( 26.5%)	49 ( 11.3%)	45 ( 10.4%)	57 ( 13.1%)	82 ( 18.9%)	31 ( 7.1%)
性犯罪	9 ( 17.6%)	21 ( 41.2%)	14 ( 27.5%)	8 ( 15.7%)	8 ( 15.7%)	7 ( 13.7%)	2 ( 3.9%)
その他	12 ( 13.6%)	24 ( 27.3%)	5 ( 5.7%)	10 ( 11.4%)	19 ( 21.6%)	13 ( 14.8%)	4 ( 4.5%)

	国や地方自治体による民間団体に対する援助の拡充	民間団体による支援の全国標準の確保	日常家事や同居家族の世話の補助、病院等への付き添い、各種申請手続きの補助	犯罪被害体験を共有し、想いを吐露できる場の紹介	報道機関からのプライバシーの保護	国民の理解と配慮・協力を確保するための広報啓発	その他
殺人・傷害等	9 ( 11.1%)	3 ( 3.7%)	9 ( 11.1%)	10 ( 12.3%)	16 ( 19.8%)	6 ( 7.4%)	5 ( 6.2%)
交通事故	62 ( 14.3%)	32 ( 7.4%)	107 ( 24.7%)	25 ( 5.8%)	103 ( 23.7%)	29 ( 6.7%)	22 ( 5.1%)
性犯罪	2 ( 3.9%)	5 ( 9.8%)	5 ( 9.8%)	5 ( 9.8%)	10 ( 19.6%)	7 ( 13.7%)	1 ( 2.0%)
その他	12 ( 13.6%)	8 ( 9.1%)	10 ( 11.4%)	6 ( 6.8%)	21 ( 23.9%)	7 ( 8.0%)	9 ( 10.2%)